学校番号 56 学校名

茨城県立竜ケ崎南高等学校

# 令和7年度道徳教育全体計画

#### 諸法規

日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 茨城県教育委員会施策

## 保護者の願い

進路に関して、大学、専門学校、就職と 保護者の希望は様々である。保護者と しては高校の3年間で子供達が心身と もに健やかに、安全で充実した生活を 送ることができるよう願っている。さら に、卒業後は社会において自立して生 活していけるようにという願いがある。

#### 各教科•科目

小説や評論を読み、筆者の主張 を理解しながら「自己」の在り方 について考え、自らの生き方に対 する思索を深めるさせる。古典に 表れた人間、社会、自然などに 対する思想や感情を理解しま のの見方、感じ方、考え方などを 豊かにさせる。

現代の社会や身近な問題につ いて、自ら考える力、公正に判断 地 する力を養うとともに自らが人間 としてどう生きるかを考えさせる。 歴

> 自分の考えを簡潔にかつ明確に 表現できるようにさせる。また、そ の能力を活用して、豊かな人間 関係を築くためのコミュニケー ション能力の育成を図る。

堂

玾

科

自然に対する関心や探究心を高 め生命尊重の精神を育成する。

健康保持や体力の向上を図り、 明るく豊かで活力のある生活を 保 営む態度を育てる。 体

豊かな情操と楽曲の時代背景 や作曲家の人間像を学び、豊か 共 な感性を養う。 絥

言語だけでなく多様な考え方を 学びグローバルな視点で行動し 玉 ようとする態度を育成する。

思いやりの心を持ち、「地球市 民」として地球環境に優しい生 活を理解させる。 弦

情報化社会の中で物事を多面 的にとらえ、予測し、筋道を立て て論理的に考える力を養うととも 報 に道徳的判断力を育成する。

地域の人や社会、自然との関わ りにおいて、自らの生活や行動に ついて考えさせ、自分にとって学 的 ぶことの意味や価値について深 な 間探 めさせる。

#### 校訓

誠実 自主 創造

## 学校の教育目標

- 生徒一人一人が主体的に学習に取り組むための授業改善を進め、基礎学力の向上を図る。
- エス イン・エー・ストロー・コース が出していた。 キャリア教育の充実と進路先の開拓を推進し、全ての生徒の進路決定を図る。 基本的生活習慣を身に付け「18歳成人」社会に対応した行動がとれることを目指して生徒の自
- 立を支援していく。 4 キャリアパスポートを活用して学校行事における生徒の達成感や成就感を養う。特別活動全般の 参加の機会を増やし、内容の充実を図る。

- SMUMRIE と指くいらせいたくに回っ 生活体験や社会体験を通して、社会の変化に適切に対応できる力を育成する。 地域への働きかけを充実させ、地域に支えられる学校、地域を支える人材を育てる学校を目指す。 効率的な業務の遅れど影響時間の短縮を目指し、労働の質を高める。 通級指導実施のための校内体制の強化と、特別な教育的支援を必要とする生徒の理解促進と指 導方の向上を図る。

## 道徳教育重点目標

基本的生活習慣を確立し、正しく物事を判断し、個性の伸長に努め、心身の 調和のある生活習慣を身に付けさせる。

- 2 礼儀の意義を理解し、時と場と場合に応じた適切な言動をとり、他の人々の 立場を尊重し、感動と思いやりの心を身に付けさせる。
- 3 生命の尊さを深く理解し、かけがえのない自他の生命を尊重し、美しいものに 感動する豊かな心を身に付けさせる。
- 4 集団の意義についての理解を深め、役割と責任を持ち、他者との協力関係の 向上に努め、自分の学校に愛着や誇りを持たせる。教師や友人との信頼関係 を構築し、より良い校風の確立と発展に努める態度を身に付けさせる。

## 特別活動

## ホームルーム活動

- 「豊かな心の育成」の指導を毎月実施する。
- 基本的生活習慣の確立と個性の伸長に努める。
- マナーを大切にし思いやりの心を身に付けさせる。
- 自他の生命を尊重し、豊かな心を身に付けさせる。 自ら学ぶ喜びを知り真理の探究に努め、豊かな感
- 受性を身に付け、生命への畏敬の念を持つ人格の 形成をめざす。
- ・ 学校行事などを企画、運営することで、協力、思いやり の心を身に付けさせる。
- ・朝のあいさつ運動をとおして、基本的な生活習慣の確 立と個性の伸長を図る。
- ボランティア活動やひまわりプロジェクトをとおして、地 域の様々な年齢層の方々との交流を図り、社会の一員と しての自覚や協調性を養う。
- ・文化、芸術鑑賞をとおして豊かな心や創造性を育てる。

## 公民科

#### 公井

人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について 思索する活動をとおして、善や正義などの価値観を涵養 する。

- 古今東西の先哲の思想について学び、人間としての在 り方や生き方 について考えさせる。
- 生命、自然、科学技術などと人間との関わりについて学 び、現代社会が抱える倫理的課題を理解するとともに、 課題解決に向けた主体的態度を養う。

現代の社会や身近な問題について自ら考える力、公正に判 断する力を養うとともに自らが人間としてどう生きるかを考 えさせる。

### 生徒の実態

- 基本的生活習慣が身につい ていない生徒が見られる。
- ・規範意識の低い生徒がわず かながら存在する。
- ・家庭の教育力が低いという 課題がある。
- ・コミュニケーション能力に課 題がある生徒が見られる。

## 地域の実態

県南部の小都市で宅地化が進行 しているが、一方で人口はやや減 少傾向にある。地域社会において も青少年の健全育成のために様々 な施策を実践している。

#### 生徒指導

『社会に貢献できる人材の育 成』を重点目標にして生徒指導 の充実を図る。

- ・基本的生活習慣を確立させ
- 服装、容儀を整えさせる。
- あいさつの励行、環境美化に 努めさせる。
- ・ 他者を思いやる気持ちを育

## 家庭との連携

『社会に貢献できる人材』を育てる ために家庭との連絡を密にし協力 体制を整える。

- 授業参観
- ・さわやかマナーアップ週間運動 の実施
- 学校、学年、学級だよりの配付
- 家庭訪問等の実施

#### 地域社会との連携

『社会に貢献できる人材』を育てる ために関係機関への協力を依頼す るなど積極的な連携を図る。 地域 社会との交流を重視し協力体制を 整える。

- 地域人材の活用
- 体験活動の推進
- 他学校等との連携
- ・ 竜南ひまわりプロジェクトの実 施